



PTA活動の運営と活動への御協力、ありがとうございました！

PTA会長さんをはじめ西サポ11の皆様には、意欲的に活動を運営いただき、誠にありがとうございました。また、保護者の皆様には活動への御協力と御参加に感謝いたします。今、学校教育で子どもたちに求められる「主体性」を、保護者の皆様がPTA活動でお手本として示していただいていることが本当にありがたいです。

令和7年度 西っこサポーターズの活動について（回答数185家庭）

○今年度の組織で、活動していける（185）

- ・本会役員の方々や先生方の負担には変わりないですが、その他の保護者方の負担がなくなったのは良いと思います。
- ・組織としては問題ないと思います。本会役員だけになったので、保護者の負担は少なくなったと思います。ただし、本会役員を引き受けられる人が集まらない場合は難しい、個人に負担がかかる。
- ・保護者の予定との調整がしやすかった。
- ・学年部、専門部がない中で充実した取り組みができていたと思う。
- ・本会役員の方々のご負担が多くなっていないかと思っていたので、今まで以上の方々の参加、活動があったとのことなので、素晴らしいと思いました。個人的には、運動会の片付けや夏の愛校作業ぐらいしか参加できなかったのが、今後できることは参加、活動していければと思いました。
- ・今年度の組織でも大丈夫ですが、人数はたくさんの方が活動もスムーズに進むと思います。
- ・保護者が学校との関わりが増えてサポートしやすくなったと思います。
- ・今年から役員だけではなく保護者が参加出来る事は協力して行く形はとても良いと思う。
- ・ボランティアの募集なども多く、以前よりも気軽にPTA活動に参加できた。

○活動内容は良い（181） 改善されると更に良くなる（4）

- ・体育館で演劇や演奏など親子みんなで楽しめる企画したいです。
- ・1学期に活動が集中していたため、学期毎などバランスよく開催があると定期的にこども達との関わりが持てて良いと思います。また、平日は仕事の調整が必要な保護者が多いためなるべく早めに予定がわかるとありがたいです（仕事の休み希望の関係で）
- ・あまり無かった活動もありましたし、頻度も適度だと思います。
- ・親子活動も体力系と文化系があり、得意な方に参加出来ました。
- ・西っこサポーターズとの名称にまだ慣れていない。だから、難しく捉えてしまう場合もあるし、場合によっては簡単に考え参加しない人もいます。わかりやすい説明があると良い。
- ・その他の内容は余り今の所浮かびませんが良い活動です。
- ・レクリエーションや工作など、活動が楽しかったです。お話し会の開催も良かったと思います。
- ・クラスで試食会をしていただけると親同士のコミュニケーションも増え、自校での給食の有り難さ（美味しさ、温かい食事）などを知るきっかけになると思いますので開催して下さると嬉しいです。
- ・先生からの活動のアイデアも聞いてみたい！
- ・先生、保護者、子どもと一緒にできる活動があるのは普段の様子と違うところも見えてとてもいいことだと思います。
- ・レクチームはイベント開催数が3回あったため、その都度、役員さんにサポートを募ってもよかったかもしれません。準備作業が多いイベント時は、役員さん数名にサポートいただけてとても助かりました。
- ・ドッジボールの時は普段あまり関わらない保護者の方や他学年の子供たちとも仲が深まった感じがして楽しかったです。来年度も楽しい活動を楽しみにしています。ありがとうございました！
- ・学年ごとの親子レクはとても良かったのですが、兄弟姉妹がいる家庭もあり、それで参加できなかったり参加しても退屈な時間を過ごしたりということもあったので、兄弟姉妹も参加可ならば尚良いと感じました。
- ・運動系のレクは全学年ではなく親睦と思い出作りを兼ねて、1年と6年に限定すると運営が楽ではないかと思います。
- ・親子レクは、授業参観等の後、続きの時間で出来ればといいなと思います。6年生が午前の参観の日、午後の親子レクでした。仕事を、半日休みを取っていましたが、1日休みに変更。一度帰って再度体育館に集合だったので、検討いただければと思います。

冬の読書週間（2月16日～2月20日） やっぱり読書は大事です



本に親しむきっかけづくりと、子どもたちが自主的に本に親しもうとする態度を養うための読書週間です。

この期間には、先生たちからのおすすめ本の紹介と、先生たちによる読み聞かせの時間があります。読み聞かせは、担任、学年の先生ではない教員が各クラスに行くので、子どもたちにとって新鮮な時間です。また、この期間は、毎日3冊本が借りられること、図書委員とのじゃんけんに勝つと読書くじを引けるという楽しみもあります。

スマホやタブレットの利用が広がったこともあり、今まで、すきまの時間で行っていた読書がされなくなってきていることを問題視しています。学校では、タブレットが授業で効率的に使えるように、タイピング練習の時間があります。タイピングのためだけに授業時間を確保するのは難しいので、あいた時間に行われます。子どもたちはゲーム感覚で夢中になってタイピング練習をし、タイピングが上達しています。しかし、こういった時間は、少し前までは主に読書をしていました。読書の時間を保障する軌道修正が必要と考えています。



読書で培われる想像力、自分では体験できない世界を本で知り興味を持つこと、関心なかった分野への興味の広がり、長文を集中して読む力が身につくこと、何度も読み返す中で深く理解することなど、本には、知識を増やし、心を豊かにしてくれる要素がたくさんあります。

御家庭におかれましても、意識して子どもたちに読書に親しませることが大事だと思います。小学生のうちに、たくさんの本に親しませましょう。

読み聞かせに来校いただいている「アリスの会」の方々

どうすれば、子どもたちが家で自主的に本を読むようになるでしょうか。

おすすめとしては、「みんなで過ごす部屋に本棚を置くこと」です。低学年なら「図鑑シリーズ」を置いてみましょう。子どもたちが、生活の中で疑問に感じたことを、はじめはおうちの人も一緒になって図鑑で調べます。すると、子どもたちは、そのうち自分で調べるようになります。別のページや別の分野には違った情報が載っているので、興味がなかったことにも興味を持つきっかけとなります。すぐ手をのばせるように、みんなで過ごす部屋にあることが大切です。

高学年なら「まんが日本史シリーズ」です。新しいものほど最新の研究結果で描かれているので、素人が思っているよりずっと奥深く、高校生になって読んでも役立つほどです。

子ども向けの「世界の名作物語シリーズ」（わかりやすく書いてある〇年生向け）もおすすめです。名作と呼ばれるものには、それだけの価値があります。みんなで過ごす部屋に置いておくことで、子どもたちは手に取ります。

いずれもシリーズで買うと高価なので、誕生日のプレゼントなどでおじいちゃん・おばあちゃんに買ってもらうとよいでしょう。おじいちゃん・おばあちゃん、申し訳ございませんがお孫さんのためによりしくお願いいたします。蛇足ですが、子どもたちは何度も読み返します。そこに価値があるので、売りに出さないでください。教師による熱いおすすめ！この熱さが大事→



